

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日 更新

事務事業名		菊池広域連合運営負担金事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	総務部	課長名	財津 公正		
	施策	25	行政改革の推進				所属課	総務課	担当者名	松本 嘉奈恵		
	基本事業	84	計画的な施策・事業の推進				所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1218		
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11027	法令根拠	地方自治法第292条の2			成果優先度評価結果	⑫
									コスト削減優先度評価結果			⑥
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	管内の共通する課題を解決するために設立した菊池広域連合の管理運営や、火葬場・し尿処理場の運営を行うため、負担金を支払う事務である。平成10年4月から、菊池管内の市町村に共通する課題を、広域的に共同処理するために開始された。平成17年2月から消防業務、平成19年4月から障害者自立支援業務が追加され、現在8事務が行われている。平成24年度より無縁仏納骨堂費が追加された。
【業務の流れ】	広域連合の負担金(のうち管理費)の納入事務、同文議決議案等の上程に係る事務を行う。
【主な予算費目】	【款】 2 総務費 【項】 1 総務管理費 【目】 1 一般管理費 【節】 1 9 負担金補助及び交付金 【細節】 1 負担金
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
負担金の納入を滞りなく行う。		負担金の納入および同文議決議案の上程	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 共同処理している総務関係事務の数	事務	平成27年度負担金増額に伴う増	
イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
→ 広域連合負担金		→ ア 総務関係予算額	円
		イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
→ 適正に支払う。		→ ア 適正に支払った割合	%
		イ	
* ③ 成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠			総トータルコスト全体計画 ~ 年度
広域連合を運営していくため、構成市として負担金を支払い同文議決議案等の上程を行う事業であるから、負担金を適正に支払うことが必要とされる。負担額については、広域連合において決定される。			0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
① 活動指標		ア 事務 イ	1	1	1	1	1	1	1	1	
② 対象指標		ア 円 イ	16,321	17,348	19,774	19,774	19,774	19,774	19,774	19,774	
③ 成果指標		ア % イ	100	100	100	100	100	100	100	100	
投資 入費 量	事業 費内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	16,321	17,348	19,774	19,774	20,169	19,774	19,774	19,774
	(A) 事業費計	千円	16,321	17,348	19,774	19,774	20,169	19,774	19,774	19,774	
		(A)のうち指定経費	千円	16,321	17,348	19,774	19,774	20,169	19,774	19,774	19,774
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	3
延べ業務時間		時間	60	24	20	24	20	20	20	20	
(B)人件費計		千円	244	95	79	95	79	79	79	79	
トータルコスト(A)+(B)		千円	16,565	17,443	19,853	19,869	20,248	19,853	19,853	19,853	

事務事業名	菊池広域連合運営負担金事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した 負担金の支払い事務、議決議案の上程事務など滞りなく事務を遂行することが出来た。
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 事業内容は負担金の支払い事務、議決議案の上程事務などであるため、達成見込みはついている。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 事業内容が負担金の支払い事務、議決議案の上程事務などであり、負担金の額も広域連合で決定されるため、向上余地はない。ただし、構成市としてより効率的な事務執行を働きかけることは可能である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他の分野の負担金の支払い業務も行われているが、事務を担当している課でなければ具体的な内容が分からないため、各担当課で分担する方が望ましいと考える。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の額は広域連合で決定されるため、市として削減する余地はない。ただし、構成市としてより効率的な事務執行・経費削減を働きかけることはできると思われる。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支払い事務、議決議案の上程事務など、必要最小限の事務のみであるため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 圏域の全住民が対象であり、各市町の負担金による運営は公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 負担金の支払い事務、議決議案の上程事務などが業務内容であるため、行政が行うべき事業である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

負担金の支払い等の事務的な業務であるため、その業務自体の成果は見えづらいが、構成市として、広域連合の事務執行の中で改善や提言等の働きかけを行っていく必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)			
成果				コスト			
				削減	維持	増加	
		向上					
		維持		○			
低下							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策							